授業科目	国際関係入門					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	大平　剛						
授業概要	グローバル化がますます深化し、人、モノ、お金、情報が地球の隅々にまで行きわたる世の中になりました。私たちの暮らしは世界と密接につながっており、地球上に存在する諸課題と無縁ではいられません。どんな問題が生じていて、どんな取り組みがなされているのかを知っておくことは、現代に生きる私たちにとっては必須の教養です。この授業では、国際関係の入門として、最低限知っておくべき事項を解説するとともに、今後、受講生の皆さんが主体的に国際関係について学ぶための足がかりとなるような授業を展開します。						
授業形態	講義			授業方法			

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	①国際関係論の基本的な知識を身に付ける。 ②国際政治に関する報道を理解できる。 ③世界情勢を眺め、論じる際に依拠する「自分なりの視座」を獲得することができる。 国際関係論の基本的な理論、概念、知識を身に付け、国際政治に関する報道を理解することができる。
理想的レベル	国際関係論に関する基礎的な知識を駆使して、国際的な現象を「自分なりの視座」から分析し、「自分のことば」で論じることができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	60%	
小テスト	40%	
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	EN21307J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
復習：該当範囲の復習	4

授業計画	
第 1 回	イントロダクション 国際関係を捉える 3 つの視点（リアリズム、リベラリズム、コンストラクティヴィズム）について学習します。

第 2 回	平和学の基礎 「平和」とは何かについて、代表的な理論をもとに解説します。
第 3 回	戦後世界秩序の形成 第 2 次世界大戦後に設立された国連システムとブレトンウッズ機関を中心に、戦後の世界秩序について学びます。
第 4 回	【イシュー編】 安全保障：国連平和維持活動（PKO）を中心に、国家間の対立を解消する仕組みについて学びます。
第 5 回	【イシュー編】 通常兵器の規制：対人地雷禁止条約とクラスター爆弾禁止条約を中心に、被害の実態とその解決に向けた取り組みについて学びます。
第 6 回	【第１回小テスト】第１回から第５回の範囲について、２０分間の小テストを実施します。 【イシュー編】 大量破壊兵器：核不拡散条約(NPT）と核兵器禁止条約について学習し、国際社会が核兵器の問題に対してどのように取り組んできたのかを学習します。
第 7 回	【イシュー編】 開発/発展、貧困/格差：人間開発という概念を中心に、発展や貧困とは何かについて理解を深めます。
第 8 回	【イシュー編】 人権・ジェンダー：ジェンダーとは何かを身近な問題から学ぶとともに、国際社会がジェンダー格差是正のためにどのような取り組みを行ってきたのかを学びます。
第 9 回	【イシュー編】 移民・難民：移民と難民はどう違うのかを学ぶとともに、日本政府が採っている移民・難民政策について学習します。
第 10 回	【イシュー編】 気候危機：地球温暖化による異常気象の頻発に対して、どのような解決策が模索されているのかを学びます。
第 11 回	【第２回小テスト】第６回から第１０回の範囲について、２０分間の小テストを実施します。 【イシュー編】 食料問題：環境問題や人口問題と切り離せない食料問題について、どのような対策が講じられているのかを学ぶとともに、そこに潜む問題点についても考えます。
第 12 回	【エリア編】 国際関係の最前線（１）：インド太平洋 キープレイヤーであるインドと中国に焦点を当て、この地域における安全保障環境がどのように変化してきているのかを学びます。
第 13 回	【エリア編】 国際関係の最前線（２）：中東アラブ世界 パレスチナ問題を中心に、中東アラブにおける紛争と宗教問題について学習します。
第 14 回	【エリア編】 国際関係の最前線（３）：東欧・ウクライナ

	北大西洋条約機構（NATO）の東方拡大がロシアに与えた影響とウクライナ戦争との関係について学びます。
第 15 回	【エリア編】 国際関係の最前線（４）：アフリカ アフリカが抱える諸問題を概観するとともに、最後のフロンティアと呼ばれるアフリカのポテンシャルについて学習します。
テキスト	特に指定しません。毎回の授業で資料を配布します。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	滝田賢治・大芝亮・都留康子『国際関係学―地球社会を理解するために』（第 3 版）有信堂高文社、2021 年。
課題に対するフィードバックの方法	小テストは採点して返却します。また、正解を配布します。
学生へのメッセージ・コメント	日頃から新聞記事（ネット記事も可）に目を通すようにしてください。また、各回の授業中には、取り上げるイシューに関する新書を紹介しますので、余裕のある方は図書館で借りるなどして読んでください。